

ナンバリング		授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)		授業形式						
M232W305		地域包括ケアマネジメント論 (Integrated Community Care Management)					統合分野								
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	主に使用する言語	その他に使用する言語		担当形態						
選択	1	3	医学部看護学 科	後期	金1,金2	日本語			単独						
担当教員	氏名 脇 幸子 E-mail syamasit@oita-u.ac.jp 内線 5052														
授業の概要	地域包括ケアシステムの中で社会生活上の多様なニーズを充足させるため、適切な社会資源と結びつけるネットワークやマネジメントの方法論、保健・医療・福祉の多職種連携、さらに今後の看護の実践にどう活かすことができるのかを探究する。特に地域・在宅ケアを必要とする人の事例を用いて、個人・家族の側面から看護過程や多職種連携、ケアマネジメントの意義について学ぶ。														
具体的な到達目標							DP等の対応(別表参照)		1	2	3	4	5	6	7
目標1	地域包括ケアマネジメントの概念・目的・機能について説明できる。										○	○			
目標2	看護と介護を連携させる機能について説明できる。								○		○				
目標3	地域包括ケアマネジメントの多様な実際について、事例検討を通して説明できる。								○	○	○				
目標4	保健・医療・福祉等の多様な場での多職種連携における看護の役割と課題についての考えを説明できる。									○	○				
目標5	保健・医療・福祉等の多様な場での看護職としてのケアマネジメントに必要な能力についての考えを説明できる。									○					
目標6															
目標7															
目標8															
目標9															
目標10															
各DPへの関連度(計10)										2	4	4			
授業の内容															
1 地域包括ケアマネジメントの概念・目的・機能 概説															
2 課題1・2準備: 慢性疾患を持つ人・家族 認知症のある高齢者・家族 精神疾患を持つ人・家族 在宅ケア・介護の必要な人】の何れかからなる4事例															
3 課題1グループワーク: 事例で学ぶ地域包括ケアマネジメントの実際															
4 課題1全体ディスカッション: 多種多様・複合化した課題へのケアマネージャーの向き合い方と対応の実際															
5 課題2グループワーク: 事例で学ぶ地域包括ケアマネジメント(連携)の実際															
6 課題2全体ディスカッション: 多職種やチームでの連携のポイント															
7 全体ディスカッション 保健・医療・福祉等の多様な場での多職種連携における看護の役割と課題															
8 全体ディスカッション 看護職として ケースマネジメントに必要な能力															
9															
10															
11															
12															
13															
14															
15															
ラーニングゴール	A:知識の定着・確認 B:意見の表現・交換 C:応用志向 D:知識の活用・創造		○	A:授業終了時の授業評価シート、課題レポート B:発問・グループワーク ディスカッション・発表 C:グループワーク・事例検討				工夫その他の	多様な見方に気づくため、全事例に対するグループ・ディスカッション・全体発表を行い(既習の関連科目の復習や事例についての調べ学習が必要)、その学びから、最終課題についての示唆をディスカッションする。						
授業時間外学修の内容と想定時間	準備学修		事例検討・グループワーク・全体ディスカッションおよび課題レポートに向けての準備(13h)												
	事後学修		事例検討・グループワークからの学習シートの作成、課題レポートの作成(10h)												
	想定時間合計		23												
教科書	授業時に適宜提示する														
参考書	授業時に適宜提示する														

成績評価の方法及び評価割合	評価方法	割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10
	授業への参加態度、事例レポート、プレゼンテーション力	50%	○	○	○	○	○					
	課題レポート	50%	○	○	○	○	○					
注意事項	特になし											
備考	授業評価シートの提出をもって出席状況を確認する											
リンク	URL											
担当教員の 実務経験の有無	○											
教員の 実務経験	協幸子（看護師、大分LCDE）											
実務経験を いかした教 育内容	附属病院での退院支援の経験、大分LCDEとしての地域での活動、がん看護や糖尿病看護での地域連携に関連した研究活動を活かして、ともにディスカッションする。											